

社団法人日本トライアスロン連合(JTU)年表

2005年(平成17年)4月13日現在

- 1974年 米国・カリフォルニア州サンディエゴ市で世界初のトライアスロン大会開催。
- 1978年 米国・ハワイ州で第1回アイアンマン大会開催。
- 1981年 鳥取県米子市皆生温泉で国内初のトライアスロン大会開催。これを機に、1980年代前半、トライアスロンの愛好会や関係組織団体が興隆。
- 1984年 複合耐久種目全国連絡協議会設立。代表に清水仲治。
- 1985年 沖縄県宮古島でロングディスタンス、滋賀県琵琶湖でアイアンマン大会、熊本県本渡市でオリンピックディスタンスのトライアスロン大会開催。
- 1985年 全国トライアスロン協議会設立を経て、翌年、日本トライアスロン協会設立。会長に清水仲治。
- 1985年 日本トライアスロン連盟設立。会長に長嶋茂雄。
- 1986年 ジャパントライアスロンシリーズ(JTS)が宮城県仙台市、岐阜県海津町、熊本県本渡市でスタート。
- 1986年 全米選手権に初めての日本選手団派遣。
- 1989年 4月 国際トライアスロン連合(ITU)設立(フランス・アビニオン)。会長にレス・マクドナルド。
- 1989年 8月 第1回ITUトライアスロン世界選手権開催(フランス・アビニオン)。
- 1989年 8月 ITU世界選手権アビニオン大会へ日本代表選手派遣。
- 1989年 暫定国内統一団体の日本トライアスロン委員会(JTC)設立。ITUへ加盟。
- 1990年 NTTトライアスロンサーキット(この年全13戦)がスタート。
- 1991年 6月 アジア・トライアスロン同盟(ASTC)設立(中国、北京)。会長に楼大鵬。事務局長に中山正夫。事務局を日本に設置。
- 1992年 10月 第1回アジアトライアスロン選手権開催(茨城県波崎町)。
- 1993年 1月 全国トライアスロン代表者会議開催。
- 1993年 5月 日本トライアスロン連合(JTU)設立準備委員会(代表に広井武昭、大塚眞一郎)発足。
- 1993年 6月 日本学生トライアスロン連合(JUTU)設立。会長に古橋廣之進。理事長に福島稔氏。
- 1993年 8月 第1回全国トライアスロン拡大会議(東京)開催。大会主催者会議開催。
- 1994年 1月 JTU設立のための暫定評議員会設立。
- 1994年 2月 第2回暫定評議員会と第26回JTU設立準備委員会の合同会議を開催。
- 1994年 3月 第1回JTU設立発起人会(世話人代表に佐々木秀幸)開催。
- 1994年 4月 JTU設立総会開催(東京)。会長に猪谷千春。理事長に佐々木秀幸。事務局長に大塚眞一郎。
- 1994年 (財)日本オリンピック委員会(JOC)(財)日本体育協会に準加盟。
- 1994年 5月 国内初のITU天草ワールドカップ(ドラフティング禁止)開催。
- 1994年 6月 ITUワールドカップ大阪ウォーターフロント大会開催。国内初のドラフティング許可レース。
- 1994年 7月 猪谷会長がアジア・トライアスロン同盟副会長に就任。
- 1994年 9月 IOCがトライアスロン競技を承認。
- 1995年 7月 ITUワールドカップ蒲郡大会開催。
- 1995年 7月 日本トライアスロン選手権開始(岐阜県海津町)。
- 1995年 11月 猪谷会長が国際トライアスロン連合理事に就任。
- 1995年 JTUジュニアプログラムの開始。オール・キッズトライアスロン大会(9月東京都立川市)始まる。
- 1996年 1月 JTU日本トライアスロン・グランプリ表彰始まる。
- 1996年 5月 ITUワールドカップ石垣島大会開催(以降、毎年)。
- 1996年 8月 猪谷会長が国際トライアスロン連合副会長に就任。
- 1996年 8月 日本ジュニアトライアスロン選手権開催(福岡県玄海町)。
- 1996年 9月 日本ロングディスタンストライアスロン選手権開催(新潟県佐渡島)。
- 1997年 7月 庭田清美がITUワールドカップで日本人初のメダル(2位)獲得(蒲郡大会)。
- 1997年 11月 JTU加盟団体事務局長会議開催(東京)。
- 1997年 FISU世界学生選手権に日本選手団派遣。
- 1997年 JTU認定記録会を開催(神奈川)。
- 1998年 2月 全国一斉公認審判員試験開催(以降、毎年)。
- 1998年 3月 (財)日本体育協会に正式加盟。
- 1998年 6月 マルチスポーツ・インターナショナル(MSI)設立。JTUのマーケティング部門を担う。
- 1998年 7月 日本スプリントトライアスロン選手権開催(東京都港区)。
- 1998年 9月 新潟県佐渡島でITUロングディスタンストライアスロン世界選手権開催。志垣めぐみが日本人初のメダル(3位)獲得。
- 1998年10月 日本ロング・ディスタンス・デュアスロン開催(秋田県森吉町)。

- 1998年 JTU公認初級指導者制度発足。
- 1999年 3月 日本ウインタートライアスロン選手権開催(北海道トマム町)。
- 1999年 7月 第1回のJTU社員総会(設立総会)開催。
- 1999年 7月 日本トライアスロン連合の文部科学省管轄の社団法人承認。
- 1999年 8月 全日本高校生大会開催(神奈川県大磯町)。
- 1999年 10月 (財)日本オリンピック委員会に正式加盟。
- 1999年 11月 日本女子エイジグループ選手権開催(鹿児島県奄美大島)。
- 2000年 4月 第9回アジアトライアスロン選手権・大陸別オリンピック選考開催(愛知県蒲郡市)。
- 2000年 6月 日本男子エイジグループトライアスロン選手権開催(熊本県本渡市)。
- 2000年 7月 ITUワールドカップ東京港大会開催。
- 2000年 8月 シドニー・オリンピックでトライアスロン競技実施。日本選手団派遣(ヘッドコーチに飯島健二郎)。
シドニー・オリンピック競技運営に日本人国際審判員、上訴委員派遣。
- 2000年 JTU初級指導者・中級指導者システムが完成。講習会スタート。
- 2001年 4月 JTUちびっこ・ジュニアトライアスロン教室開始。
- 2001年 6月 日本デュアスロン選手権開催(福井県小浜市)。
- 2001年 8月 山口県きらら博覧会会場でITUワールドカップ山口大会開催。
- 2002年 4月 全国の小中学校1万3500校にビデオ・雑誌によるトライアスロン教材配布。
- 2002年 6月 FISU世界学生トライアスロン選手権開催(石川県七尾市)。
- 2002年 8月 国民体育大会高知大会で、デモンストレーションとしてのスポーツ競技でアクアスロン採用。
- 2002年 10月 ITUワールドカップ幕張大会開催。
- 2002年 12月 中山正夫がアジア・トライアスロン同盟副会長に就任。
- 2003年 5月 縦野大作選手(岡山県)が日本人初のITU世界エイジグループトライアスロン選手権(スペイン)で優勝。
- 2004年 6月 日韓親善トライアスロン大会開催(韓国・ソクチョウ)。
- 2004年 8月 アテネ・オリンピックでトライアスロン競技実施。日本選手団の派遣(ヘッドコーチに三宅義信)。
- 2004年 12月 大塚眞一郎が国際トライアスロン連合理事に就任。
- 2005年 9月 ITU世界トライアスロン選手権大会(エリート、U23、ジュニア、アクアスロン計8部門)の開催(愛知県蒲郡市)。
- 2005年 SEAゲームでトライアスロン実施(フィリピン・スピックベイ)。
- 予定
- 2006年 12月 ドーハ・アジア大会(トライアスロン競技実施)開催。
- 2008年 8月 北京オリンピックでトライアスロン競技。

平成17・18年度社団法人日本トライアスロン連合役員一覧

会 長	猪谷 千春(国際トライアスロン連合副会長)
副会長	三宅 義信
理事長	荒井 憲二
理 事	大塚 眞一郎(国際トライアスロン連合理事)
理 事 事務局長	中山 正夫(アジアトライアスロン同盟副会長)
理 事	國分 孝雄

理 事	山倉 紀子
理 事	和田 恵子
理 事	荻野 智満(北海道ブロック)
理 事	片桐 勝一(東北ブロック)
理 事	奈良島 信泰(関東ブロック)
理 事	則井 克己(東京ブロック)
理 事	荒川 勝(北陸ブロック)

理 事	竹内 元一(東海ブロック)
理 事	渡邊 仁(近畿ブロック)
理 事	亀井 清光(中国ブロック)
理 事	川崎 寛典(四国ブロック)
理 事	加納 修二(九州沖縄ブロック)
理 事	秋山 昭八
理 事	三宅 淳一